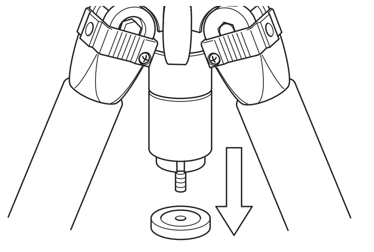
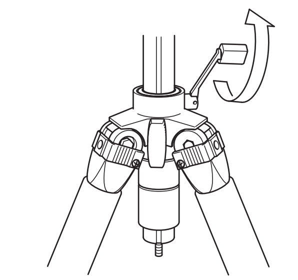
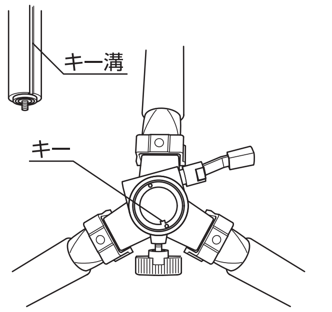
エレベーターの交換

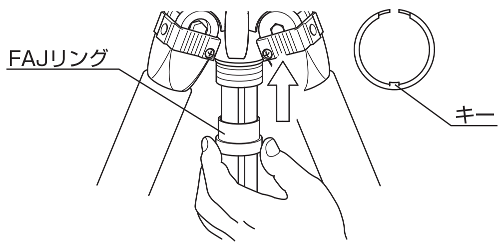






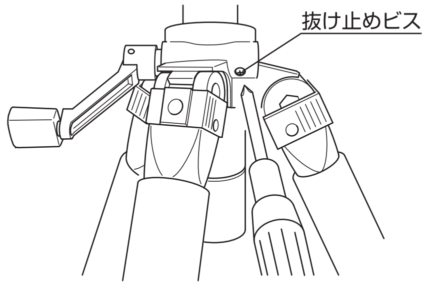
付属のローポジション雲台受と交換することでより低い位置での撮影が可能になります。
1. 下部座金をゆるめて外します。
2. エレベーターカバーパイプをゆるめます。
3. クランクハンドルを操作してエレベーターを上に抜き取ります。
4. ショートエレベーターの下部座金を外します。
5. 本体部の中のキーとエレベーターのキー溝の方向を一致させます。
6. クランクを軽く回し、歯のかみ合いを確かめてから下まで降ろして行き、下部座金をセットします。

FAJリングの取り付け



もし、交換時にFAJリングが外れたら次のように組み込んでください。
1. エレベーターカバーパイプを左に回し下に抜き取ってください。
2. FAJリングのキーとエレベーターのキー溝を一致させて本体の中へ厚みの薄い方からさしこみます。
3. エレベーターカバーパイプをもと通りにねじ込みます。

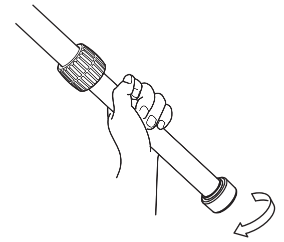
クランクハンドル位置合わせ



エレベーター交換後のクランクハンドルの収納位置を修正する時は、抜け止めビスをゆるめてクランクハンドルを引き抜いて再度セットしてください。
クランクハンドルが抜け落ちないようにビスをしっかりと締め込んでください。

石突の交換

⚠ 注意



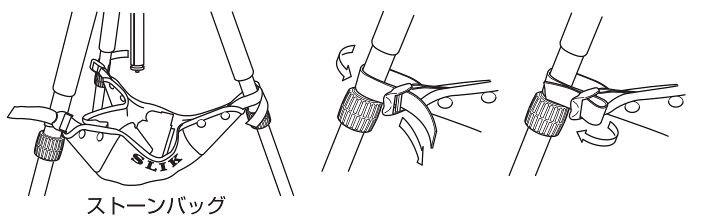
ゴム石突を取り外して、スパイク石突と交換する事が出来ます。
脚パイプをしっかりと握り、ゴム石突をゆるめてはずします。
この時、最下段の脚パイプ以外を持って行うと、脚パイプが破損する恐れがあります。

⚠ 注意

最初に付属のスパイク石突きを止まるまで指でねじ込みます。
最後に付属のスパナで止まるまでねじ込んでください。
注意：
最下段の脚パイプ以外を持って行うと、脚パイプが破損する恐れがあります。
付属以外のスパナを使用すると脚パイプが破損する恐れがあります。

付属品

⚠ 注意

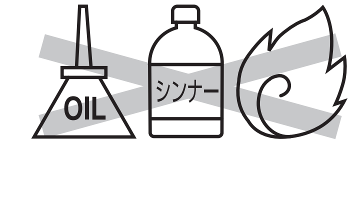


ストーンバッグ

アクセサリーなどを入れて、三脚全体を重くし安定性を高めます。
図のようにベルトを通して取り付けてください。
脚ロックナット部に引っかけて、下へのずり落ちを防いでください。
物を入れる前にバッグの固定を確認してください。
エレベーターの急な落下により、内容物にあたることがありますのでご注意ください。

お手入れ

- グリス、油の補給はしないでください。
- よごれたときには、中性洗剤をやわらかな布につけてふいてください。その後、きれいな乾いた布でふいてください。
- 火に近づけないようにしてください。夏など高温になる車内などに長時間放置しないでください。



＊改良のため、お断りなくデザイン、仕様を変更することがありますのでご了承ください。

©2012 SLIK CORPORATION

アフターサービス

製品の修理に関してはお買い求めの販売店または販売元のケンコー・トキナーへご依頼ください。
本製品の補修用性能部品は製造中止後5年を目安に保有しております。
したがって本期間中は修理をお受けいたします。

インターネット・ホームページ　http://www.slik.co.jp/

スリック株式会社
本社/〒350-1231 埼玉県日高市鹿山853

スリック製品販売元
株式会社 ケンコー・トキナー
〒161-8570 東京都新宿区西落合3-9-19 Tel. 03-5982-1060

SLIK®

カーボンマスター 923 PRO N, 924 PRO N

取扱説明書

このたびは、スリック製品をお買い求めいただきまことにありがとうございます。
ご使用前にこの説明書をよくお読みいただき正しく、十分に性能を生かしてお使いください。
お読みになったあとは必ず保管し、わからないときには再読してください。
脚のみをお買い上げの方は[三脚部]の説明を中心にお読みください。

⚠ **注意** このマークは取扱いを誤った場合、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

⦸ **禁止** このマークは禁止(してはいけないこと)内容です。
説明にしたがい事故のないようお使いください。

三脚ケース付
ストーンバッグ付

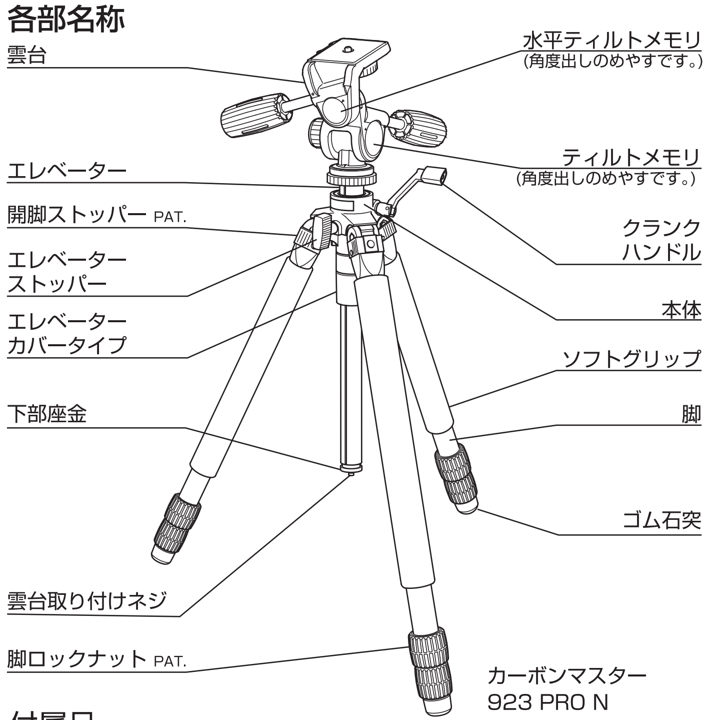
P949-1

仕様

カーボンマスター	923 PRO N	923 PRO N 脚
縮長	830 mm	708 mm
全高	2,045 mm	1,900 mm
EVスライド	310 mm	310 mm
質量	3,350 g	2,350 g

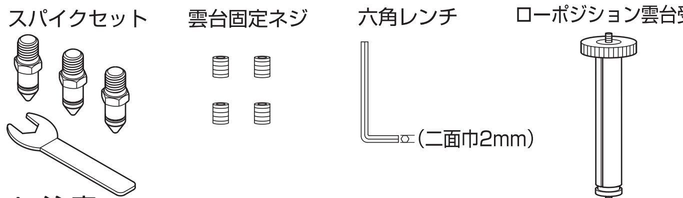
カーボンマスター	924 PRO N	924 PRO N 脚
縮長	680 mm	554 mm
全高	1,935 mm	1,790 mm
EVスライド	310 mm	310 mm
質量	3,340 g	2,340 g

各部名称



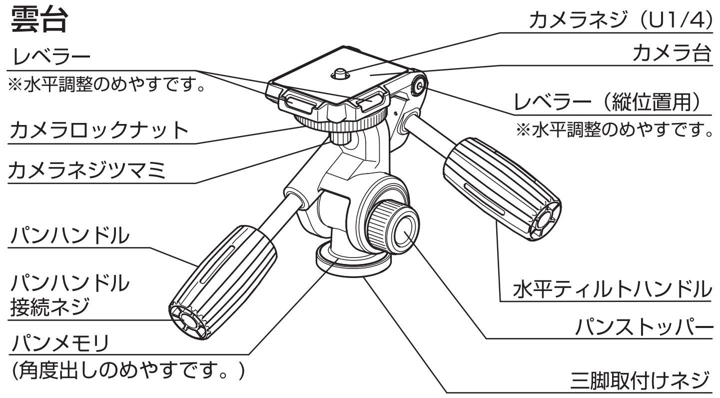
カーボンマスター
923 PRO N

付属品



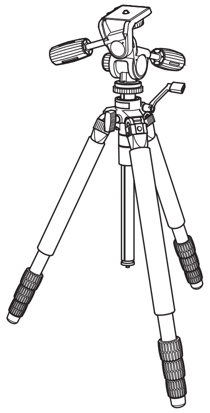
⚠ 注意
ソフトグリップは消耗品です。永久的に使用できるものではありませんので傷んだらお買い求めの販売店または販売元のケンコー・トキナーへご依頼ください。
(無料修理保証の対象外です。)
※まれに黒い色が付着することがありますのでご注意ください。

雲台



⦸ 禁止
パンハンドルだけを持って、三脚を持ち上げないでください。

※三脚用レベラーは水平調整のめやすです。
カメラ内蔵のレベラーとは精度が異なります。



カーボンマスター
924 PRO N

搭載する機材

⦸ 禁止

最大搭載質量
カーボンマスター 923 PRO N　：7kg
カーボンマスター 923 PRO N 脚：7kg
カーボンマスター 924 PRO N　：7kg
カーボンマスター 924 PRO N 脚：7kg

これ以上の機材は載せないでください。
また、上記搭載質量以下のものであっても重心位置によりバランスの取りにくいものもあります。
そのようなときは、上のクラスの三脚をお使いください。

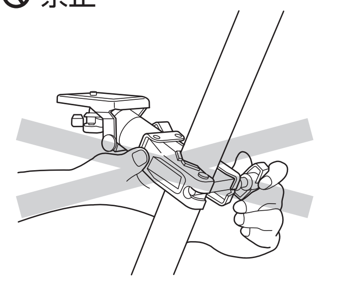
衝撃のあったとき

⚠ 注意

三脚が転倒するなど衝撃が加わった場合は、パイプにひび割れが入っていないか確認ください。
傷、割れ等が見つかった場合はただちに使用を中止し修理を依頼してください。
カーボン繊維が出ている場合はケガをするおそれがあります。
直接ふれないようご注意ください。

クランプヘッド

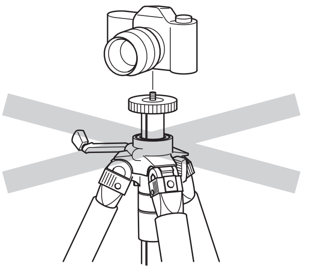
⦸ 禁止



別売のクランプヘッドはカーボン三脚に使用しないでください。
パイプが破損し危険です。

雲台取付けネジ

⦸ 禁止



カメラを直接エレベーターに取り付けることは故障の原因になります。
雲台などを介してお取り付けください。

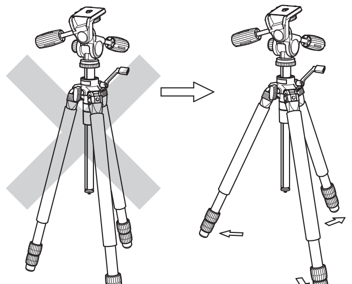
持ち運びのとき

⦸ 禁止

三脚にカメラを取り付けたままの移動や、パンハンドルだけを持っての移動や運搬は、思わぬ事故を起こしますので行わないでください。
移動や運搬をする際には、上記に従い行ってください。

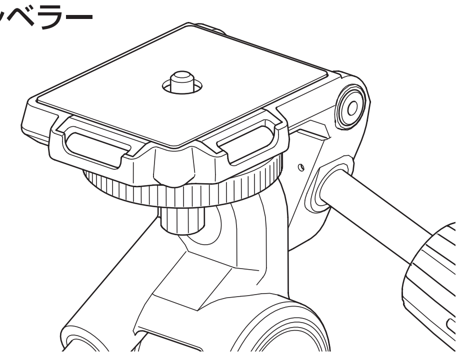
機材の取り付けとセットアップ

⚠注意



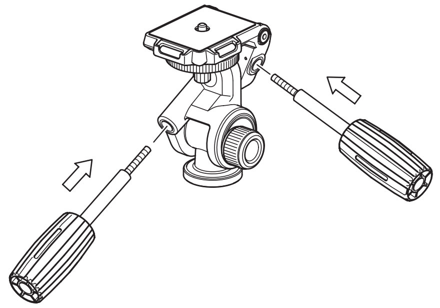
カメラの取り付け、ハンドル、ツマミ、レバー類のロックは確実に行って、落下や転倒を防いでください。
また、3本の脚を十分に開いてください。脚の開きが不十分だと不安定でカメラブレや転倒の原因になります。

雲台部 レベラー



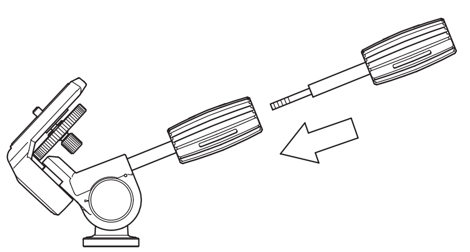
カメラ台のレベラーを使用すると、水平出しのめやすとすることができます。

パンハンドルの取り付け



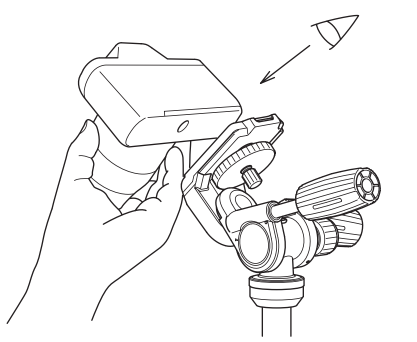
雲台に2本のハンドルを取り付けます。
ハンドルに長・短はありません。どちらにも取付けることができます。

収納

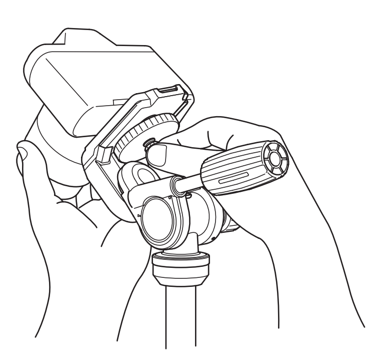


水平ティルトハンドルをはずし、パンハンドル後部のパンハンドル接続ネジにねじ込んでください。
コンパクトに収納できます。

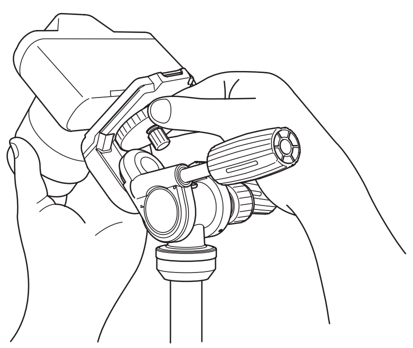
カメラの取り付け



ハンドルを操作して、図示の様にカメラ台の手元をあげると、ネジ部が見えて取り付けやすくなります。

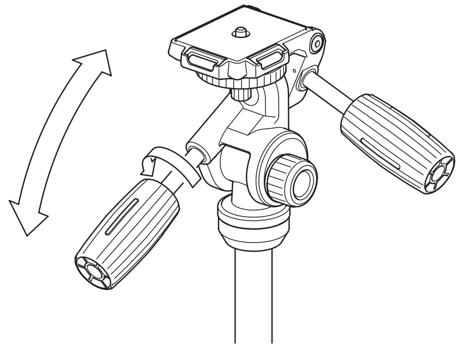


カメラをしっかり支えながら下側のカメラネジツマミでカメラネジを、ねじ込みます。

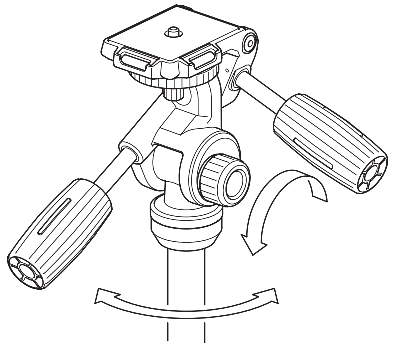


次に上側のカメラロックナットで、しっかりと締め込みます。

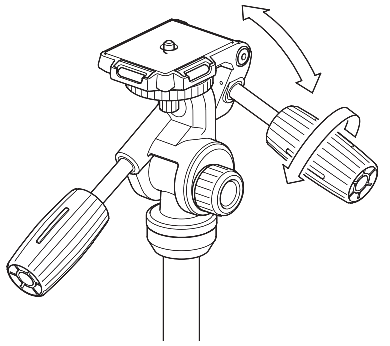
雲台の使い方



パンハンドルをゆるめると、前後にティルトできます。

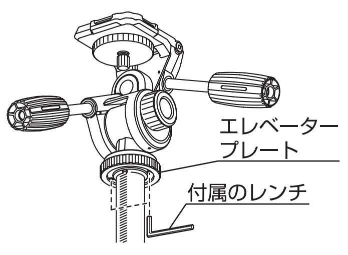


パンストッパーをゆるめると、水平に回転できます。



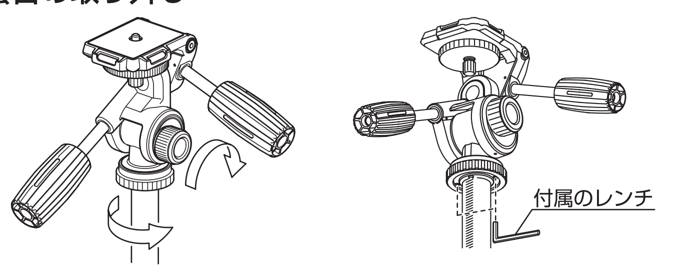
水平ティルトハンドルをゆるめると、水平調節ができます。

雲台固定ネジ



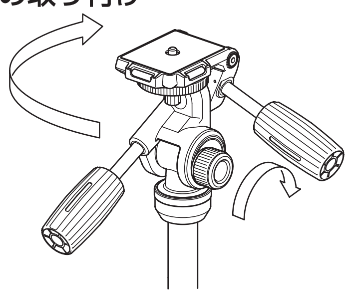
フィールドスコープや望遠レンズなど重い機材をのせて使用する際は、雲台と三脚がゆるまないように、付属の雲台固定ネジを使用してください。
エレベータープレートの裏側から雲台固定ネジを入れ（2ケ所）、付属のレンチで締め付けます。

雲台の取り外し



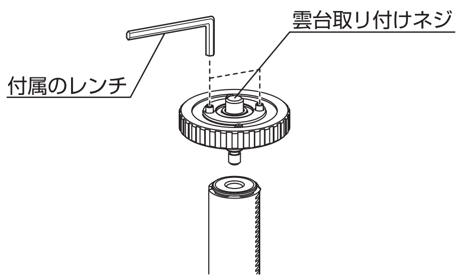
始めに、脚部のエレベーターを10mm程度上げて、エレベーターストッパーでしっかりと固定します。次に雲台のパンストッパーをしっかりと締め込みます。このとき雲台固定ネジ2本を使用している場合は、必ず付属の六角レンチで緩めてください。（出荷時、ネジはエレベータープレートについていません）
パンハンドルと水平ティルトハンドルを握って力強く反時計方向に雲台をまわします。これで雲台がゆるみます。

雲台の取り付け



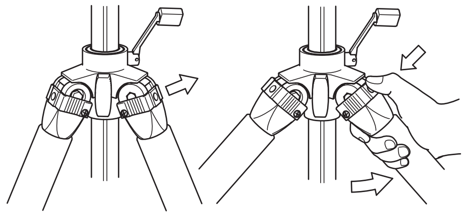
雲台（アクセサリー）と三脚のネジを合わせます。
雲台を時計まわりに止まるまでまわします。
パンストッパーをきつく締めて、さらに時計まわりにねじこみます。
パンストッパーをゆるめると通常にパンニングできます。

三脚部 雲台取り付けネジを小ネジにする



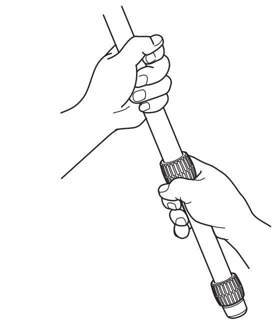
U1/4の小ネジにしたいときはエレベータープレートを外して取り付けネジを反転してください。
エレベータープレート上部の止めネジ（2ケ所）を付属のレンチでゆるめるとエレベータープレートは外せるようになります。

開脚角を変える



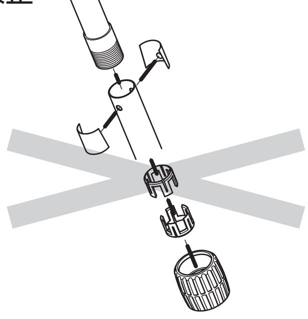
標準の開き位置から脚を少し閉じるようにして、開脚ストッパーを引き出すと残り二つの開脚角度（ミドル、ローのポジション）がえらべます。
使用角度が決まったらストッパーをつきあてにあたるように確実にもどしてください。

脚の伸縮

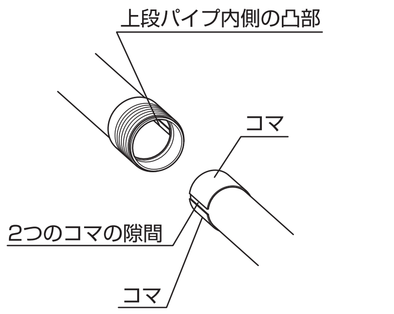


脚ロックナットをゆるめると、脚は伸縮します。位置がきまったら、しっかりと脚ロックナットを締めつけてください。

🚫 禁止

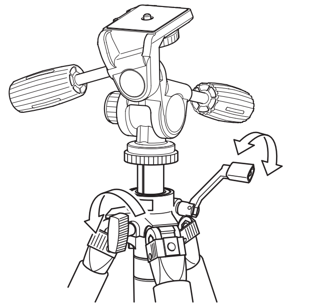


ナットを外して分解することは事故の原因になるので、なるべく行なわないでください。外したときは図のように正しく組みこんでください。

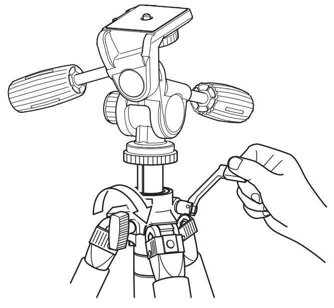


パイプを差し込むときは、2つのコマの隙間とパイプの内側の凸部を合わせてください。

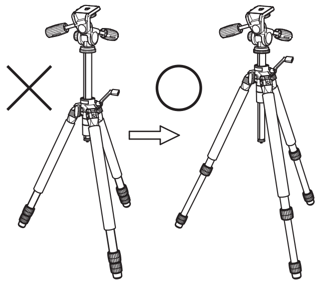
エレベーターの操作



エレベーターストッパーをゆるめてクランクハンドルを操作するとエレベーターは上下します。

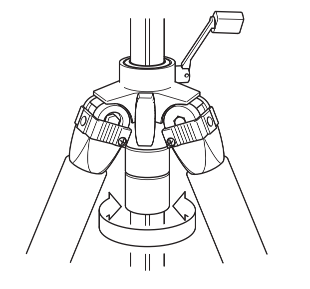


クランクハンドルから手を離す前にストッパーを締めてください。エレベーターの不用意な落下をふせげます。



エレベーターはなるべく高さ調節用として2/3くらいまでの高さでお使いください。一杯に伸すとゆれが出やすくなります。

エレベーターカバーパイプ



エレベーターカバーパイプの締め具合で、エレベーターの上下かたさが調節できます。